

重点課題
 II 暮らしの向上
 5 学びの支援

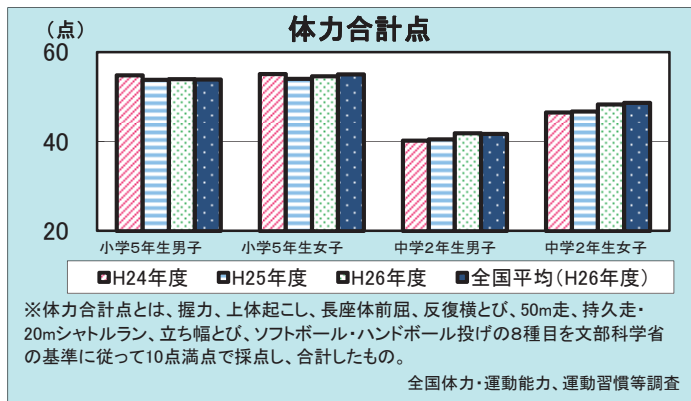
目指す姿
 子どもの人間力を育て、社会人として親としての学びを支援し、地域の教育力の充実を図ります。また、すべての県民がいきいきと暮らすため、学び続け支えあえる地域社会を目指します。



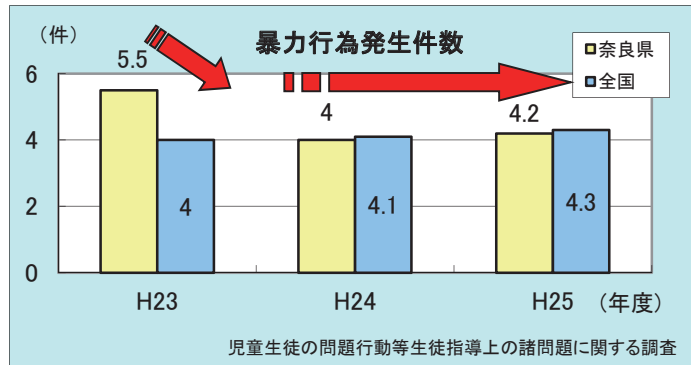
これまでの成果

- ・学校・地域パートナーシップ事業等、学校と保護者・地域住民が参画・協働して教育課題の解決に取り組むための体制整備は順調です。(学校コミュニティの取組の平成26年度実施率は、県内公立小・中学校の94.5%に上昇しました。)
- ・平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、中学生の体力合計点の伸び幅は、男子が全国1位、女子が全国2位となりました。小学生の体力については全国平均レベルに上昇しています。
- ・平成26年度に、県立大学が地域貢献として公開講座を3回開催(102人参加)するとともに、図書館が館長公開講座をはじめ、各種講座を延べ44回開催(3,577人参加)し、広く県民に学習の機会を提供しました。

1. 政策課題の進捗状況

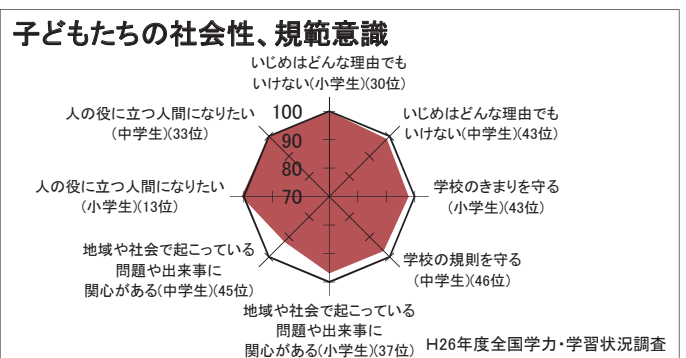
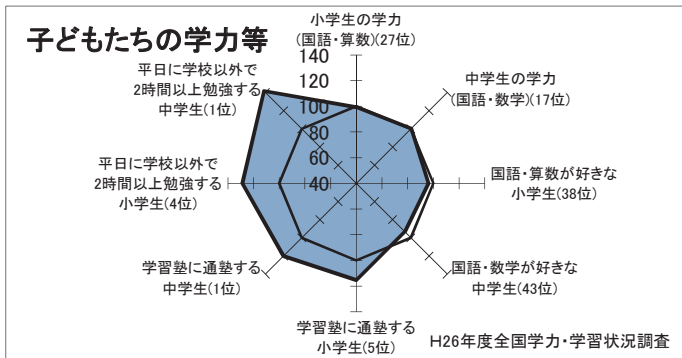


目標	平成28年度までに「規範意識の高い子どもの割合」と「子どもの体力・運動能力」を全国平均に上げます。
取組	・地域ぐるみで取り組む小・中・高校生規範意識醸成事業や学校・家庭・地域が協働する体制整備に取り組みました。 ・幼少期からの外遊びの推奨や運動部活動の活性化等、運動習慣の確立に向けて取り組みました。
成果	毎日運動する習慣づくりや子どもが日頃の力を発揮できる体力テストの実施などにより、小学生の握力、50m走、ソフトボール投げ、中学生の上体起こし、反復横跳びは男女とも全国平均を上回りました。



目標	「児童生徒の暴力行為の発生件数(児童生徒1,000人当たり)」を全国平均以下に維持します。
取組	・学校支援アドバイザーや巡回アドバイザーによる学校への支援や積極的な学校訪問を実施しました。 ・学校サポーター等の配置や、小・中・高等学校等での生徒指導に関する研修会へ指導主事等の講師派遣をしました。
成果	学校支援アドバイザー等の派遣による支援の充実などにより、暴力行為の発生件数は、平成24年度で全国平均を下回り、平成25年度も目標値を維持しました。

2. 現状分析

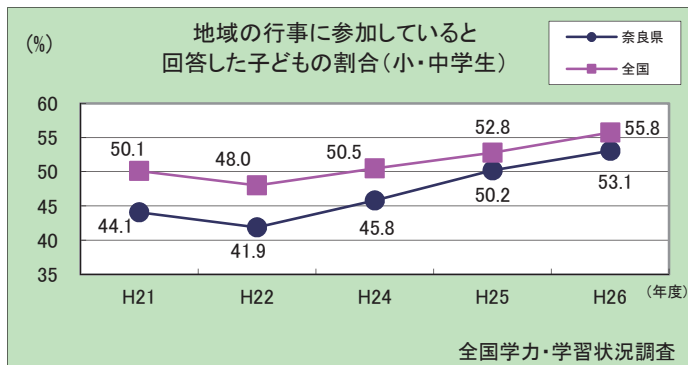


学力は全国平均と比べて同程度ですが、勉強が好きな割合は低位です。学習塾に通っている割合は高く、学校以外でも長時間の勉強をしています。

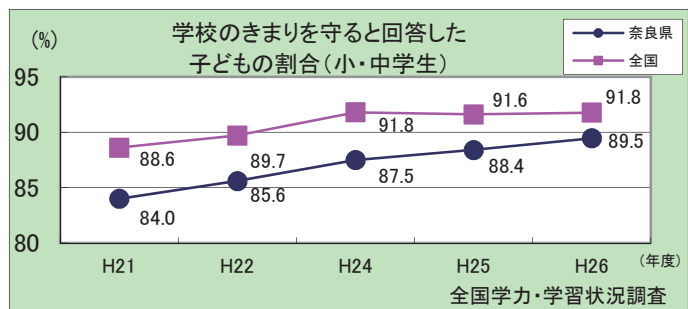
規範意識や社会的関心が全国平均より低い傾向ですが、人の役に立つ人間になりたいと思う割合は全国平均と同程度です。

3. 施策課題の進捗状況

戦略目標	▶「地域と共にある学校づくり」において、学校コミュニティ(=奈良モデル)、県立モデルの実施率を向上させ、取組の定着を図ります。(平成26年度目標実施率:県内公立小・中学校94.2%、県立学校100%)
------	--



取組	学校・家庭・地域が協働して地域ぐるみで子どもたちを育てるとともに、地域とのつながりや絆づくりを推進するため、学校・地域パートナーシップ事業を実施しました。
成果	学校・家庭・地域が協働する取り組みの定着が図られ、地域の行事に参加していると回答した子どもの割合は平成22年度に減少しましたが、その後は増加し、全国平均との差が縮小してきています。



取組	児童会や生徒会の活動を活用し、地域とも連携したボランティア活動などを実施しました。
成果	学校や社会のきまりやマナーを守ることの意義を理解させ、実践させる取り組みなどにより、学校のきまりを守ると回答した子どもの割合は毎年改善し、全国平均との差は縮まってきました。

4. 平成28年度に向けた課題の明確化及び明確化された課題に対する今後の取組方針

平成28年度に向けた課題	今後の取組方針
地域の教育力の向上のための取り組みの推進	総合教育会議や奈良県教育サミットを開催し、奈良県教育の振興に向けての基本的方向性を検討します。
子どもたちの規範意識・社会性の向上のための取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携したボランティア事業を実施します。 ・生徒指導支援アドバイザー、学校巡回アドバイザーの派遣やいじめ相談員による学校支援を行います。 ・小・中・高等学校等での生徒指導に関する研修会を実施します。 ・うだ・アニマルパークで「いのちの教育」を実施します。 ・スクールカウンセラーの活用について更なる充実を図ります。
子どもたちの体力向上のための取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日運動する習慣を確立します。(「外遊びみんなでチャレンジ」の実施や業前・業間遊びの充実) ・各学校での体力向上推進計画策定を更に推進します。 ・幼稚園・高等学校の芝生化を推進します。 ・武道・ダンスの授業に専門的な指導者を派遣し、教員の授業力を高める取り組みを実施します。

5. 平成26年度評価において見直しを行った課題、取り組み

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
教職員の資質・能力の向上	子どもの学力及び学習意欲の課題の解決を目指し、従来の初任者研修や10年経験者研修に採用2年目から3年目対象のフレッシュアップ研修等を加え、若手教職員研修の充実を図るなど、教職員の資質・能力の向上につながる取り組みを今まで以上に強化しました。